

井上達男

様

2010年夏

ねむの木山荘から お便りします

相変わらず 異常な猛暑が続いていますが、お変わり有りませんか、ハチ高原「ねむの木山荘」から お見舞い申し上げます。

さて、「ねむの木山荘」からの「お便り」と云えば「山や高原」が中心になりますが、今回は夏向きに「海」を取り上げてみます。と云うのは、山陰海岸の「余部鉄橋」の思い出を400字にまとめて、神戸新聞の「発言」欄に投稿しました。幸いこれが取り上げられて、24日の朝刊に掲載されました。

ご参考にコピーを同封します。相変わらずの「まこと節」(橋本昭さん命名)の駄文ですが、ご一読下さい。

私は「余部鉄橋」は周辺の海岸や村々を含めて、一度は訪ねてみる値打ちが有ると思います。しかしこれだけの目的で出掛けるのは実はシンドイ仕事です。そこで「ねむの木山荘」をベース・キャンプに、何か今一つのテーマと組み合わせる計画されるのが Better と思います。

今一つのテーマは 簡単に、夜、星空の下「ねむの木山荘」のベランダ(?)  
…未完成…でビール・パーティーと云うのも悪く無いでしょう。

夏はキレイな海、秋は周辺の山々の紅葉、橋の下には新鮮な魚を食べさせる店も出来ています。山陰海岸を辿るクネクネのドライブ・コースは ジオパーク…  
…「大地の公園」の候補地にも挙げられています。スリルに富んだドライブと「大地の不思議」を体験する事が出来るでしょう。

「ねむの木山荘」と「余部鉄橋」を組み合わせる海と高原の小さな旅をご計画下さい。

こんな話をお友達やお知り合いの方々にも呼び掛けて下さい。

人数の多少にかかわらず、小屋番は心をこめてお世話させて頂く”積り”(?)です。

2010,08,01

ハチ高原「ねむの木山荘」

小屋番代表 たかだ まこと

連絡 ケイタイ 090-1895-9731

付記

1, 「余部鉄橋」は以前は「余部陸橋」と云いました。今後はどうなるのでしょうか、

まさか「余部コンクリート橋」とは云わないでしょう。もとの「陸橋」に戻る事を期待しています。

- 2、 新聞投稿の「職業」を「NGO 顧問」としております。私は この度 ネパール国の Local NGO Action Nepal の Chief Director Malakar Deepak 君の Personal Advisor を買って出ました。その意味の肩書です。HNA-Japan の役職とは関係ありません。今後は 主に現地 NGO の Advisor ・・顧問として活動する事にしました。

完

私にお墓子りほどの找合に  
ご家族でご利用下さい。

天かた M.

### 余部鉄橋の歴史知ろう

高田 誠 75歳  
 (NGO顧問 神戸市須磨区)  
 昭和22年、私は中学1年生だった。夏休みに部活の写生合宿で余部鉄橋を訪ねた。当時は国鉄の

車のはい煙の残るトンネル二つをくぐり抜けて鉄橋の付け根に出た。橋の下の小学校で宿泊させていただき、毎日、写生をしたり海で泳いだりした。列車の通過を待つ。鉄橋の上を何度も歩いて渡った。大冒険だ

### 若者BOX

吉田 晃 16歳  
 (高校生 姫路市)  
 は読みたいとも思っています。

高校に入って1年が過ぎ、あっといふ間に高校生活2度目の夏です。今年の夏も去年と同様、部活動の柔道はかりの毎日になるでしょう。今年は去年とはちがって、部活動の遠征で九州まで行くので楽しみです。

### あつというまに高2の夏に

部活動をがんばると同時に、夏休みの課題もこなさないといけません。今年の課題は少し多めですが、なるべく

支給されたという。また、新しく当選した議員にも、日割りではなく1カ月分の歳費などが支給されるという。なぜ日割りにできないのだろうか。



### 発言

鮮人が動員され、犠牲者も出たという。来日の機会に現場を訪れ、犠牲者の冥福を祈って来たのだという。国の学校で教わったそうである。

思いがけない話になってしまった。今、新旧の橋の見学に多くの人がやってくる。消えていく橋に、忘れてはならない歴史があることを伝えておきたい。

「難しいの〜」  
 はなま隆治



だ。仕分けを言うのであれば、随分と始めよ。まず国会の仕分けに取り組むべきだ。

英検めざして自分の机買おう  
 朝山 紀美子 41歳  
 (ホームヘルパー 神戸市西区)

と称し、無駄の指摘を行ってきたのだが、国会自体の無駄は放置してきたのではないか。最近完成した議員会館は、ころ。このような施設が、これまでより面積が3倍国民の理解を得られる上になり、地下には柔道場まで備えているといか。

今、わが国は多大な債務を抱えている。その多くは、党利党略のための政策で政治がつくった債務

岡田 美代子 67歳  
 (自営 三木市)  
 夢中でした。遠くに遊びに行けなかった姉の唯一の楽しい遊びは、母が消してきれいにしてくれました。横で見守るおじいさんの顔もほころんでいます。

国会改革から手をつけよう  
 田中 幹雄 81歳  
 (無職 三木市)  
 参院選挙が終わった

自分専用の勉強機を買った。前からほしくしていたが、社会人になったとき、机はいらないだろうと処分した。でも、30代に入ってから、勉強したいと強く思うようになった。勉強をさせられていると思うときは、少しも面白くない。

ロウセキで道にお絵描き  
 ロウセキで道にお絵描き